

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/10号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一

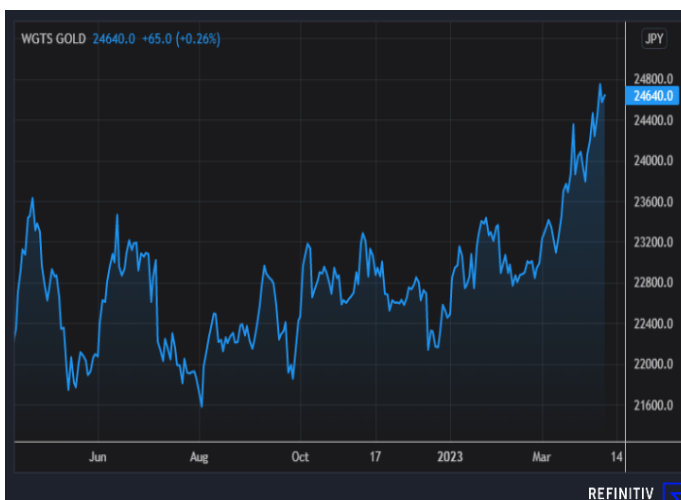


【ゴールドマーケットの現状】

円建てゴールド市場最高値更新8576円へ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



三週間連続で円建てゴールドの高値更新となりました。新高値は火曜日につけた8576円。週半ばは中華圏で清明節の休日、後半はEasterでほぼ世界中が休みとなりました。金曜日は世界中のマーケットがクローズしている中、注目の雇用統計の発表がありました。この数字が大きく市場予想からズレていることがあれば、マーケットが再開する月曜日のGlobexオープニングである東京時間の朝7時にすべてが集中されるという状況になりました。発表されたNFPは23.6万人増と市場予想とそれほどズレない結果となり、おそらく月曜日のオープニングは恐れていたまでの波乱はないと思われます。発表されたときにオープンしていた為替市場ではドルが131.70から132.30まで上昇、米長期金利も3.31%から3.41%へと上昇しました。米国の雇用市場が市場の大方の考えよりもしっかりしているとの印象が強かったのだと思います。おそらく月曜日のゴールドのオープンにはEaster前の2008ドルから若干下がったレベルとなるでしょう。この発表前はCME FedWatchは5月の利上げの可能性は50/50であったのが70%を超えました。これはゴールドの上昇のスピードを緩める要因です。一方中央銀行のゴールド買いが止まりません。3月も中国が18トンのゴールド買い。これで5か月連続でトータル120トン。人民銀行のゴールド準備は2068トンに。今年に入ってからの世界の中央銀行のネットでのゴールド買いは125トンとなり、2010年に中央銀行がネットで買い手に回ってからでは最も強いスタートになっています。昨年1136トンという過去最大の買いを記録した中央銀行セクターですが、今年はこのを超える可能性が十分あるとみているアナリストは多く、これは今後もゴールドの下値を支えるだけでなく価格の上昇要因になり続けるでしょう。ゴールドの強気はまだまだ長期的に考えた方がよいでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

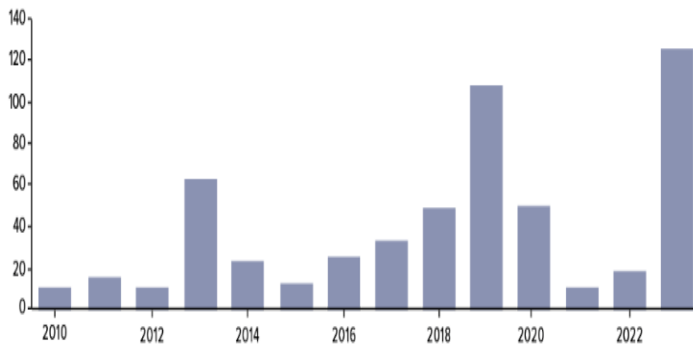
【マーケット・トピック】

「中央銀行とゴールドETFの買い」

中央銀行のゴールド買いは年初二ヵ月間で125トンとなり、これは中央銀行がネット買い手にまわった2010年からの最大の数量となりました。最大の買い手はシンガポールの51.4トン、それに次いでトルコ45.5トン、中国39.8トン、ロシア31.1トン、そしてインド2.8トン。（ただしロシアはほぼ一年ぶりの発表で、1月2月だけではなく過去一年の間の積算。）売り手はカザフスタン、ウズベキスタン、そしてUAE。しかし圧倒的に買いが多いためネットでは125トンの買いとなりました。また3月にはほぼ一年ぶりにGold ETFが資金流入となり31トンの買いとなりました。

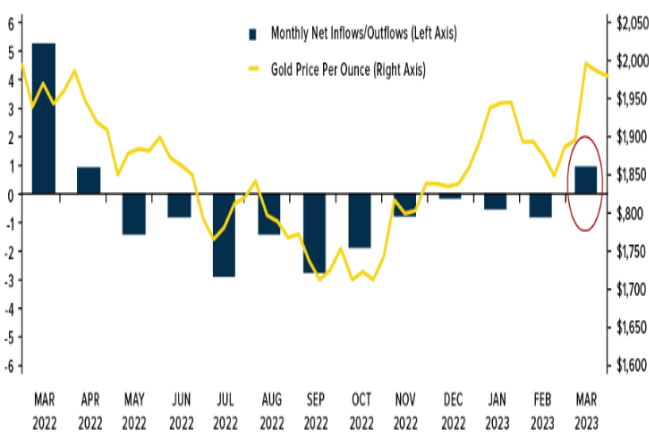
Central Bank Demand Has Had the Strongest Start to a Year Since at Least 2010

Total Net Purchases/Sales in January and February of Each Year, in Tonnes

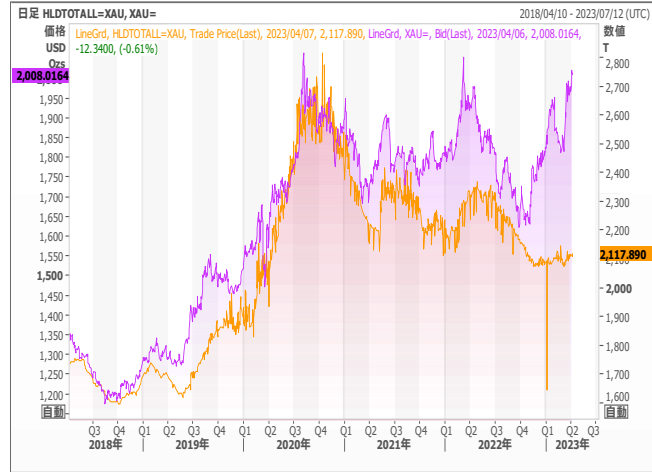


Source: IMF, World Gold Council, U.S. Global Investors

Gold-Backed ETFs Added Nearly 1 Million Ounces in March



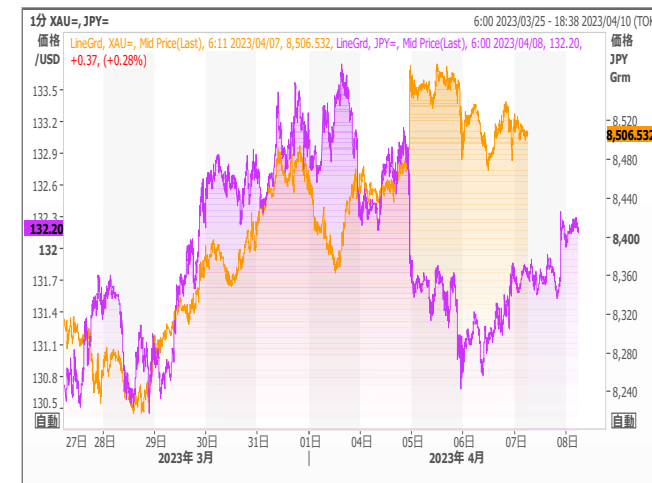
Source: Bloomberg, U.S. Global Investors



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

